

弦楽アンサンブル部定期演奏会が開催されました。

3月17日(土)午後、つくばカピオホール（つくば市竹園1-10-1）で、弦楽アンサンブル部の「第2回定期演奏会」が開催されました。校長挨拶の一部を掲載します。

- 本日は、弦楽アンサンブル部の第2回定期演奏会にお越しいただき、誠にありがとうございます。本校の弦楽アンサンブル部は、当初同好会としてスタートし、先輩たち先生方の努力によって、着実に部員数が増えてきました。現在の部員数は、前期生32名、後期生26名、合計58名と聞いています。
- 昨年度は、弦楽アンサンブル部にとって飛躍の年になりました。それは、2017年10月21日の「創立10周年記念式典」での演奏です。吹奏楽部との合同で、約100名の「並木オーケストラ」を編成し、つくば国際会議場大ホールで演奏していただきました。また、昨年3月31日には、このホールで、記念すべき第1回定期演奏会が開催されました。そして、本日が第2回定期演奏会です。こうして、弦楽アンサンブル部の歴史が着実に刻まれていることをたいへん嬉しく思います。5年次生は、この演奏会を最後に引退すると聞いています。ぜひ、これまでの活動の思いを弦に込めて演奏してください。
- 私は、2015年から「アクティブ・ラーニング」の研究をしていますが、2018年からは、AALを提唱し、全国に広めています。AALとは、「アート・アクティブ・ラーニング」です。人工知能やロボットが発達する時代においては、「アート」がとても大切だと思います。音楽を演奏する、音楽を聴くこともAALです。今日の演奏会は、皆さまの「アート・アクティブ・ラーニング」にもなると思います。どうぞ、ごゆっくりお楽しみください。



◆今回の写真は、プロカメラマンの方に提供していただきました。さすがプロですね(^o^)!